

桐生繊維業界の実態

平成29年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成29年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	11 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	60 億 7,486 万円	
(2) 加工高	16 億 0,524 万円	
(3) 販売高	61 億 1,215 万円	
計	137 億 9,225 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比93%）	16 億 2,969 万円	
計	154 億 2,194 万円	（前年対比 93%）
3. 組合員数（事業所数）	210 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	1,319 人	
5. 一事業所当たり従業員数	6 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	6,568 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 9 年 産地収入	616 億 9,017 万円	（前年対比 91%）
平成 10 年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成 11 年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成 12 年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成 13 年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成 14 年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成 15 年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成 16 年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比 131%）
平成 17 年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成 18 年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成 19 年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成 20 年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成 21 年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）
平成 22 年 産地収入	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
平成 23 年 産地収入	258 億 0,221 万円	（前年対比 100%）
平成 24 年 産地収入	257 億 5,924 万円	（前年対比 100%）
平成 25 年 産地収入	261 億 8,835 万円	（前年対比 102%）
平成 26 年 産地収入	254 億 1,823 万円	（前年対比 97%）
平成 27 年 産地収入	218 億 6,296 万円	（前年対比 86%）
平成 28 年 産地収入	166 億 0,011 万円	（前年対比 76%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数					従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)		計 (人)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	48	89	82	57	49	277	55
	内地協議会	52	61	73	60	49	243	59
桐生染色組合		10	85	49	4	4	142	52
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		11	23	65	7	13	108	47
桐生織物産地元売組合		2	3	2	0	1	6	54
桐生糸商組合		7	20	8	1	7	36	46
桐生刺繍商工業協同組合		47	74	112	67	67	320	55
東日本編レース工業組合		4	40	25	4	4	73	50
桐生紋紙組合		9	2	0	4	2	8	66
東毛ジャカード刺繍協同組合		8	8	10	8	8	34	56
桐生織物商友会		7	13	9	1	6	29	57
桐生テキスタイル商業グループ		5	21	13	4	5	43	50
合計		210	439	448	217	215	1,319	

注

- (1) 平成 7 年 1 月 13 日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7 年 5 月 17 日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3 月 31 日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3 月 31 日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3 月 31 日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4 月 1 日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3 月 31 日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3 月 31 日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3 月 31 日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3 月 31 日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成28年 3 月 30 日 桐生意匠組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	256,908	18,516	275,424	84	0	100
	内地協議会	91,580	-	91,580	88	0	100
桐生染色組合		-	38,000	38,000	95	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		66,500	55,710	122,210	107	6	94
桐生刺繍商工業協同組合		29,300	47,350	76,650	98	40	60
東日本編レース工業組合		148,511	-	148,511	98	7	93
桐生紋紙組合		3,600	-	3,600	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		11,087	948	12,035	87	2	98
合 計		607,486	160,524	768,010	92	8	92

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	32,000	100	20	80
桐生糸商組合	355,000	91	70	30
桐生織物商友会	92,000	110	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	132,215	90	1	99
合 計	611,215	94	43	57

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	250, 075	90	25, 349	10	275, 424
	内地協議会	91, 580	100	-	-	91, 580
桐生染色組合		38, 000	100	-	-	38, 000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		122, 210	100	-	-	122, 210
桐生織物産地元売組合		32, 000	100	-	-	32, 000
桐生糸商組合		320, 000	90	35, 000	10	355, 000
桐生刺繍商工業協同組合		76, 650	100	-	-	76, 650
東日本編レース工業組合		147, 661	95	850	5	148, 511
桐生紋紙組合		3, 600	100	-	-	3, 600
東毛ジャカード刺繍協同組合		12, 035	100	-	-	12, 035
桐生織物商友会		92, 000	100	-	-	92, 000
桐生テキスタイル商業グループ		118, 993	90	13, 222	10	132, 215
合計		1, 304, 804	95	74, 421	5	1, 379, 225

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		75	11	13	1	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		56	25	13	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		80	5	5	10	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		25	15	10	12	38
桐生織物産地元売組合		帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
		35	20	10	15	20
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
		40	20	5	15	20
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		15	15	20	10	40
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		62	28	10		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		30	55	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン・刺繍	その他の布帛	プリント加工
		80	3	12	4	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
		75	5	5	1	14
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット関係	その他		
		60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	65
		自動織機（片レピア含）	156
		超自動織機（レピア）	357
		計	578
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	396
		小幅織機	42
		自動・レピア織機	48
		計	492
桐生染色組合	常圧噴射式染色機		50
	高圧噴射式染色機		5
	汎用染色機		5
	チーズ染色機		30
	高圧液流染色機		18
	計		108
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン（特殊含）		143
	プレス		30
	裁断機		15
	その他		41
	計		229
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン		45
	多頭式ミシン		355
	計		400
東日本編レース工業組合	ラッセル機		99
	計		99
桐生紋紙組合	デザインシステム		16
	横彫カット・エンドレス		10
	カードパンチ		8
	ワンパンチ		3
	計		37
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン		17
	プレス		4
	本縫いミシン及びその他の機械		16
	パンチング製版機及びプリント機		3
	計		40

7. 最近の推移（H29年10月～H30年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 (%)	増	変らず	下降	前年対比 (%)
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	85		○		100
	内地協議会			○	88		○		95
桐生染色組合				○	90			○	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)			○		100		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100		○		100
桐生糸商組合				○	70	○			105
桐生刺繍商工業協同組合			○		100		○		100
東日本編レース工業組合			○		100		○		100
桐生紋紙組合				○	90			○	90
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会		○			110		○		100
桐生テキスタイル商業グループ				○	95		○		100
合計		1	4	7		1	9	2	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成29年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 産地商品に対する国内消費については、減少している。
輸出においては、個性的な素材へのニーズはあるが、同時に小ロット化が進み安定した受注を得られなくなっている。
- ・ 和装部門については、全国の観光地では和装服姿を目にする事が多くなっているが、産地製品の需要増加には結びついていない。フォーマルなど定番製品だけでは消費者の興味を引くことが難しく、今まで市場で目にする事が少なかった製品や、説得力のある製造法や目新しさなどがアピールできる商品が興味をもたれるような傾向にある。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 国内事業として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2018AWを開催。
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。
輸出向けとして、7月にミラノで開催されたミラノウニカに出展をした。
- ・ 和装部門については、生活スタイルの変化による和装離れと、流通の弱体化による影響は依然として大きく、加えて成人式に関連する社会的影響の大きな事件や、前近代的な取引慣行、不適切な販売手法など消費者不信やきもの離れがもたらされている。
この状況に対応するため、歴史ある産地で信頼の持てるメーカーを市場にアピールするため、新製品の開発事業や集散地で開催する販路の開拓事業などを積極的に展開した。

今後の課題

- ・ 独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、より幅広い販路に向けて効果的なプロモーションをしていくことが重要となってくる。
- ・ 和装部門については、以前から問題となっている和装離れの歯止めや、消費者の業界に対する不信感の払拭のためモラルの確立など、産地和装製品の消費拡大に対する懸案は増加するばかりで、さらに継続する生糸価格高騰のコストアップへの対応など課題は多い。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 織物はジャカード(柄物)が特に悪い。前年比さらに10%減。(情報として、今後IT関連の関係者がアパレルに関与してくるので、国内の情勢もかなり変化する。)
- ・ レースカーテンは一部好調(他は横バイ)。
- ・ インナー、アウター向けレースはここ1～2年で加工量は半減した。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 去年は全体的に不調であるが、医療向け・レースカーテンは堅調。
- ・ すきま産業のアカスリは好調。アパレル(衣料)の復調が待たれる。

今後の課題

- ・ 産業資材、メディカル関連をいかに取り組めるか、抜本的なアパレルの改革が望まれる。

桐生ものづくり協同組合（旧 桐生繊維製品協同組合）

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 数量の多い引き合いがあるが、ほとんど決まらない場合が多い。
東京オリンピックに向けて動きが良くなる事に期待したい。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 取引先ブランドの消滅により内需が縮小したことで、当組合のアパレル向け縫製企業の売り上げは減少した。しかし、その他の企業が好調だった為、全体的な売り上げは昨年よりも上昇。また、どの企業も海外販路を模索した年であった。

今後の課題

- ・ 高付加価値の商品を少量で作っていたのでは、生産の背景がなくなってしまうので、少しでも早く海外販路も含めた生産背景を維持できるだけの受注をとりたい。
- ・ アパレルのOEM生産から自社ブランドの開発及び販売に事業転換を早急に図る。
- ・ 受注、生産の確保に力を入れる。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 海外（東南アジア）産品に押され、桐生地区ファッション製品は、より高級化されている様に思われる。
大量生産品については、何かのブームを造り出す必要があると思う。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 両毛地区の全分類の中で良かったのは、車関係の一部、医療品関係の一部、ニット関係の一部に止まる。拠って、売上げも下がったと思われる。

今後の課題

- ・ 海外旅行者が年々急ピッチで増している中、桐生地区の土産品の開発及び桐生地区への海外からの旅行者を呼び込む方策を、繊維を絡めて発信できる方法を見付け出す事が必要ではないだろうか。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 消費者ニーズの多様化による、小ロット生産が主体となっている。また、低価格、短サイクルがあいかわらず求められている。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 全体的に刺繍関連は受注が若干下がりました。
円安に伴う材料費等の値上がりが問題ではあります。

今後の課題

- ・ 技術者の高齢化により、人材の確保はあいかわらず難しい状況です。
- ・ 組合として可能な限り、色々な事にチャレンジを続ける事で、個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の素晴らしさを全国に、そして世界に発信していきたいと思います。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 値頃感のある商品、個性のある商品が好調。

平成29年の状況、事業概要

- ・ インテリア関連は、コントラクトを除いて低調。
衣料は、落ち着いた生産展開が出来た。

今後の課題

- ・ インテリア以外の商品開発必要。
原生産だけでなく、さらに加工を加え付加価値増が今後の課題。
桐生産地の生産工程に於ける生地力が低下し物づくりがむずかしくなっている。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 二極化している購買層への対応として、商品の独自性・特異性が求められています。価格、仕様、デザインなど、対象者への適切な訴求ポイントがある商品の開発が、ますます必要になっていくと感じます。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 販売方法、商品開発などに尽力し成功した企業も多く有る中、市況はまだまだ厳しい状況下にあると思われます。

今後の課題

- ・ 高齢化社会を迎え、ますます人手不足そして事業継承の問題が深刻化していると思います。行政・地域が一体となって、産地を守り、伸ばす仕組みを作っていく必要を感じます。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 希少性の高い商品が好まれる。
- ・ ニーズが出てこないのでは商談の件数が減少している。
- ・ 百貨店と比較してターミナルビル等の方がより良くて安価な商品が増えていることや、インターネットを利用した購入が増えていることなどから、百貨店の売上が引き続き減少している。

平成29年の状況、事業概要

- ・ 先行してシーズンの商品を発注することが少なくなり、シーズン中の発注が中心になっているため、生産納期が間に合わなくなっている。
- ・ 得意先から「高く売れる商品」の要求が少なくなっている。
- ・ 加工場の廃業により加工技術がなくなりつつあるため、他産地での加工や同業者間の協業を目指す必要が出てきた。
- ・ 原糸や、燃料代がアップして仕入れ価格が上昇している。
- ・ 天候不順も売れない原因の一つと思われる。

今後の課題

- ・ 一回当たりのオーダー数の減少に伴うチャージアップにより仕入価格が上昇している。
- ・ 運送会社の値上げに伴う立替運賃の負担額が増えてきた。大きな商品が運びにくくなっている。
- ・ 試作した時の費用を得意先が負担せず、経費の負担が増えてきている。そのため、ネット販売システムを活用していく必要がある。
- ・ 業界全体で販売体制を構築し、BtoBへの対応を目指す必要がある。特にアパレルとの協業体制ができるのが望ましい。また、若い学生などに興味を持ってもらうことが必要で、新しいアイデアをだせる人が増えていかないと状況も環境も変わらないと思われる。展示会・イベントなどを行い、学生・一般のゾーンと取引中心のビジネスゾーンに分けて対応することで学生との接点を効率よく増やしていけるのではと考える。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	牛 腸 章	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート 内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	朝 倉 泰	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株) 内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村 田 欽 也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ 内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後 藤 誠 三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300